

IBM IoT Building Insights

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

IBM IoT Building Insights は、IoT のセンサーおよびメタデータを分析すると同時に、ビル管理システムを連携させて、外部ソリューションからのインプットを関連付け、拡張知性 (AI) によるエネルギー使用に関して建物の振る舞いを学習します。IBM IoT Building Insights はエネルギー消費量に関する分析および診断、エネルギー予測の AI モデル、およびエネルギー浪費の費用回避に焦点を合わせます。IBM IoT Building Insights により、お客様は、IBM が提供する AI モデルおよび第三者が開発したカスタム・モデルの両方を活用しながら、お客様自身のユーザー・インターフェースおよびカスタム・サービスの体験を使用して「クラウド・サービス」を拡張することもできます。

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM IoT Building Insights Production Environment

この「クラウド・サービス」により、お客様は、最大 100 台の「クライアント・デバイス」に接続することができ、それぞれが 1 つの建物に関連付けられ、場所やフロア、サブシステム (例: 冷蔵庫または照明) など関連する物理的な属性を備えています。「クラウド・サービス」に接続されている「クライアント・デバイス」ごとに、1 日あたり最大 1,440 件の送信メッセージ (1 メッセージあたり 0.25KB のサイズ) に制限されます。

1.1.2 IBM IoT Building Insights Non-Production Environment

お客様は、ソリューションをテストしてその値を証明し、あらゆるタイプの接続デバイスをテストするために、および PoC (概念検証) を実行するために使用される、「クラウド・サービス」の非実稼働環境の「インスタンス」を取得できます。非実稼働環境の「インスタンス」はそれぞれ、最大 10 台の「クライアント・デバイス」をサポートできます。お客様が 10 台を超える「クライアント・デバイス」を必要とする場合、お客様は、実稼働オファリングに対して使用許諾を取得しなければなりません。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」) のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」) にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション (処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連) に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、DPA が適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=3547276046E911E8ADCBA344DE8FB657>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サー

ビスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「クライアント・デバイス」とは、「クラウド・サービス」へアクセスするサーバー環境から、実行コマンド、手続き、またはアプリケーションを要求または受信するデバイスのことです。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。

5. 追加条件

2019年1月1日より前に締結されるクラウド・サービス契約書 (または同等のクラウド基本契約) については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 拡張機能

IBM IoT Building Insights に構築された拡張機能は、当該拡張機能を提供したサービス・プロバイダーがホスト、管理、維持しなければなりません。これには、IBM IoT Building Insights に対する最新更新で確実に機能するための、拡張機能の定期的なテストが含まれます。